

カルチュラル・スタディーズ学会 若手研究会の開催について

カルチュラル・スタディーズ学会では、若手の研究を広く知ってもらう機会を設けるべく、昨年度から若手学会員を対象にした研究報告会を開いています。

今年度の第1回は、関西大学大学院社会学研究科マス・コミュニケーション学専攻との共催で開催します。

参加費無料、申込不要、会員・非会員にかかわらずどなたでもご参加いただけますので、是非お越しください。終了後は、懇親会も予定しております。

(質問等に関しては、村田麻里子 mmurata@kansai-u.ac.jp までお願いします)

■若手研究会の開催

日時：12月8日(土) 13時30分～17時30分

場所：関西大学梅田キャンパス 701 (7階)

<http://www.kansai-u.ac.jp/umeda/>

主催：カルチュラル・スタディーズ学会、

関西大学大学院 社会学研究科 マス・コミュニケーション学専攻

スケジュール：

13:30 開会

発表①：

談イ (関西大学大学院社会学研究科博士後期課程1年次)

「郊外への欲望と『少女』性——宝塚歌劇団の成立と変容」

コメンテーター：田中東子 (大妻女子大学)

発表②：

小泉空 (大阪大学人間科学研究科博士後期課程)

「建築原理から68年、そして『ブunker・アルケオロジーへ』——初期ポール・ヴィリリオの思想形成」

コメンテーター：水嶋一憲 (大阪産業大学)

休憩

発表③：

吉村竜 (首都大学東京大学院人文科学研究科博士後期課程)

「移民と地域コミュニティの位相——ブラジル南東部の日系人コミュニティの展開を事例に」

コメンテーター：劉雪雁 (関西大学)

発表④：

安藤有史 (立教大学法学研究科博士後期課程)

「暴動解釈の政治学：現代イギリス暴動史（1981～2011年）と文化犯罪学的転回」
コメンテーター：黒田勇（関西大学）

17:30 閉会、その後懇親会会場へ移動